

関係人 提出方法 持参、郵送
提出期限 1月19日(金)17時15分まで(期日必着)
提出先・問合せ まちづくり整備課 開発担当
☎62-0721

長寿生きがい課
65歳からの介護保険料について

介護保険料は、64歳までは加入されている医療保険から介護分として納めていただいていたが、65歳からはお住まいの市町村へ納めていただくこととなります。

65歳になる月の上旬に、町から「介護保険被保険者証」と「介護保険料納入通知書」を送付いたします。

介護保険被保険者証は、介護認定申請等をする際に必要になりますので、大切に保管してください。

なお、65歳になられた年度は、すぐに特別徴収(年金からの自動支払い)とはなりませんので、普通徴収(納付書払い又は口座振替)で納めていただきます。

年金からの自動支払いへは、条件成立後自動的に切替になります。その際は、改めて通知をいたします。

ご不明な点等はお問い合わせください。

問合せ 長寿生きがい課 長寿生きがい担当
☎62-0718

長寿生きがい課
平成29年度 高齢者外出支援タクシー助成券を交付しています

高齢者の日常生活の利便性の向上と社会参加の促進を図るため、運転免許証を所有しない75歳以上の方に、タクシー料金の一部を助成しています。

対象 町内に住所を有し、運転免許証を所有しない(運転免許証の失効者を含む)75歳以上の方及び平成28年度に高齢者運転免許証自主返納事業を申請された方。

ただし、次の方を除きます。

- ・医療機関に入院中の方
- ・介護保険による施設サービスや認知症対応型共同生活介護(グループホーム)等のサービスを受けている方
- ・重度心身障害者福祉タクシーの支給対象者

助成内容
〔通常利用の場合〕
運賃総額に対して500円から1,000円を助成します。

〈迎車利用時に初乗り料金を超えている場合〉
運賃総額に対して500円から1,500円を助成します。

●助成券の交付枚数は、1か月あたり4枚、年度末までの分を一括交付します。(例…1月申請の場合、3か月×4枚=12枚。申請月が遅くなりますと、交付枚数も少なくなります。)

●助成券の有効期限は、平成30年3月31日まで。

◎利用できるタクシー会社

- ★イグチ交通株式会社
- ★森林公園交通株式会社
- ★観光タクシー有限公司
- ★有限会社小川観光タクシー
- ★ダイイチ交通株式会社
- ★有限会社東松山交通

〔高齢者運転免許証自主返納支援タクシー助成券、妊産婦外出支援タクシー助成券をご利用の方も利用可能〕

申請先 長寿生きがい課 又はふれあい交流センター(土、日、祝日は除く)

手続き 本人申請又は代理人申請(委任状及び代理人の運転免許証、保険証など本人確認のための書類が必要。)

※代理人とは、同一世帯員、親族、包括支援センター又は指定居宅介護支援事業者職員、法定代理人及び民生委員をいいます。

持ち物 印鑑

高齢者運転免許証自主返納を支援しています

町では、高齢者の運転による交通事故を防止するため、運転に不安を感じた高齢者の運転免許証自主返納を支援しています。

対象 嵐山町に住居登録のある70歳以上(返納時)の方。ただし、入院中の方、介護保険施設に入所の方は除きます。

支援内容

- ・タクシー助成券15枚(1年間有効)
- ・運転経歴証明書の交付手数料(1,000円)の助成

※申請手続きは、外出支援タクシー助成券と同様です。

問合せ 長寿生きがい課 長寿生きがい担当 ☎62-0718

健康いきいき課
難病患者の方の経済的負担を軽減します
お見舞金を支給します

町では難病患者の方に見舞金を支給しています。

◎対象者

- ・平成29年度申請していない方に町に引き続き1年以上住民登録があり、保健所で指定難病に係る医療受給者証を交付されている方

ただし、今年度申請済みの

農業委員会
農業者との意見交換会

嵐山町農地活用活性化アドバイザーと農業に従事している方との意見交換会を行います。ぜひお気軽にご来場ください。

日時 1月24日(水) 13時30分から

場所 嵐山町役場町民ホール
内容 仮題 「農業の活性化(もうかる農業)」千年の苑・めんこ61号
講師 嵐山町農地活用活性化アドバイザー 渡辺忠司氏
費用 無料
申込み 不要
主催 嵐山町農業委員会
問合せ 農業委員会事務局 ☎62-0719

教育相談室

受験シーズン到来！
家族で頑張る高校入試

あけましておめでとございます。2018年、戌

年がスタートしました。世間では新年のお祝いムード一色ですが、受験生のいらっしゃるご家庭では、何となく落ち着かないお正月を迎えたのではないのでしょうか。多くの中学3年生の子どもたちが人生初めての進路選択の時を迎えました。見るからに不安そうな子もいれば、平然としている子もいるでしょう。しかし、その胸の内は、どの子もきつと、これからやって来る高校入試のプレッシャーに押しつぶされそうな毎日だと思えます。時には、思うように勉強が進まずにイライラしたり、気持ちの焦りから家族に当たってしまったり、自暴自棄になったりすることもあるかもしれません。そんな受験を目前に控えた子どもに、家族として何が出来るでしょうか。アスリートがベストパフォーマンスをするために必要な三要素は、「心・技・体」と言われます。受験生にも同じことが

言えます。受験に向かう心「精神」、技「問題を解く知識と技術」、そして体「体調」。この三つが揃って、初めて最大の力を出すことが出来ます。技は、まさに今、子どもたちが頑張っている受験勉強ですが、家族は勉強や試験を代わってやることは出来ません。しかし、「精神」と「体調」はサポートすることが出来ます。そう考えると、受験は家族で共に頑張るものともいえます。

「精神」を支える

時には、その不安から逃れるために、勉強とは無関係なことをやってみようかもしれません。(テスト勉強をしなければならぬのに、机の整理をしたくなったことはありませんか?)子どもの受験が迫って来るこの時期、家族も緊張したりソワソワしたりするものです。ましてや受験生が勉強とは無関係なことをしている姿を見ると、家族としては小言の一つも言いたくなります。さらに家族の方が焦りから他の子と比較してしまつては、子どものやる気を削いでしまいかねません。ここは家族

もグツと我慢です。今、やらなければならぬことは、子ども自身が一番わかっているはず。もちろん、一言、言わなければならぬこともありますが、「今は大変だけど、試験が終わったら美味しいものでも食べに行こうね」など、まずは今の不安な状況を受け止めてあげましょう。そんな一言が、そつと背中を押すことになるかもしれません。子どもの不安な気持ちやピリピリした空気は、周囲にも伝わります。そんな時こそ家族はどつしりと構えて、出来る限り「平常心」を心がけてお子さんを支えてあげましょう。

「体調」を支える

この時期はインフルエンザや感染性胃腸炎など、様々な感染症が心配です。これらに感染しないよう、体調管理には十分な配慮が不可欠です。入試当日まで家の中こもりきりになることは出来ません。日頃から周囲の状況に敏感になることが大切です。状況を知ることが、状況に応じた予防策を講じることが出来るからです。また、予防接種も有効な

予防の一つですが、受験直前に病院などへ接種に行き、別の病気やウイルスをもらってしまったら大変です。最適な接種時期を見極めましょう。そして、受験生本人だけでなく家族内感染を予防するためにも、家族みんなで手洗い・うがいの励行に努めてください。そして、栄養価の高い食事を心がけましょう。十分な栄養は、病気から体を守ってくれるだけでなく、精神的なサポートになります。勉強に関して直接的なサポートが出来なくても、様々な場面で、家族も一緒に頑張ってくれている姿は、受験に立ち向かう子どもたちの大きな支えになるはずです。

子どもたちは、高校入試という人生で初めての試験を通じて、さらに成長していくことでしょう。それぞれの希望が叶うよう、頑張る子どもたちを温かく励まし、支え、見守ってください。春には満開の桜とともに、どの子も夢と希望に満ちあふれた新生活がスタート出来ますように：ガンバレ！受験生家族！